

2.5 優先度が高い必要情報の実装

2.5.1 優先度が高い必要情報の実装

評価に基づいて優先度が高いとされた情報に、再エネ動向や国の政策等から必要と考えられる情報を加え、REPOS に搭載すべき必要情報を整理した。そのうち本業務において、REPOS サイトおよびテストサイトに実装した情報を表 2.5-1 に示す。

優先度が高いと評価された情報の中には、整備期間が必要なものや現状入手困難な情報もあるため、次年度以降に整備・搭載について検討する情報の案については、2.4.3 項の将来シナリオにおいて整理した。

表 2.5-1 本業務において整備・搭載（本サイト・テストサイト）した情報

種別	区分	情報名	原典*1	エネルギー種別情報/地図	対応業務*3
GIS (WebGIS) 【本サイト 搭載-公開】	防災関連情報	砂防三法指定区域	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		土砂災害特別警戒区域（位置）	EADAS*2	エネルギー種別情報/地図	ポテンシャル/情報活用
		土砂災害特別警戒区域（範囲）	EADAS*2	エネルギー種別情報/地図	ポテンシャル/情報活用
		土砂災害危険箇所	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		山地災害危険地区（民有林）	EADAS*2	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		浸水想定区域（洪水）（国管理河川）	EADAS*2	エネルギー種別情報/地図	ポテンシャル/情報活用
		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）	EADAS*2	エネルギー種別情報/地図	ポテンシャル/情報活用
		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		浸水想定区域（津波）	EADAS*3	エネルギー種別情報/地図	ポテンシャル/情報活用
		浸水想定区域（津波）_収録状況	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
	既設の発電所	既設の風力発電所（発電所位置）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		既設の風力発電設備（風車位置）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		既設の地熱発電所	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
	計画中の発電所	計画中の太陽電池発電所	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		計画中の風力発電所（陸上）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		計画中の風力発電所（洋上）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		計画中の地熱発電所	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
	FIT 認定設備の概略位置	太陽光発電（2,000kW未満）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		太陽光発電（2,000kW以上）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用

種別	区分	情報名	原典*1	エネルギー種別情報/地図	対応業務*3
		風力発電	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		水力発電	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		地熱発電	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
	電力系統情報	系統マップ	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
	その他	行政区域（都道府県）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
		行政区域（市町村）	EADAS	エネルギー種別情報/地図	情報活用
	砂防堰堤	砂防堰堤	水大気局提供データから作成	エネルギー種別情報/地図	ポテンシャル
グラフ 【テストサイト搭載-未公開】	都道府県別ランキング	再エネポテンシャル密度（発電）	情報活用業務で作成	トピックス	情報活用
		再エネポテンシャル密度（熱）		トピックス	情報活用
		再エネポテンシャル活用度		トピックス	情報活用
		電力需要まかない度		トピックス	情報活用
GIS (shp, Grid) 【本サイト搭載-公開】	地熱	蒸気フラッシュ発電 (150℃以上) 導入ポテンシャル(基本)、導入ポテンシャル(条件1), 導入ポテンシャル(条件2)	情報活用業務で作成	データと報告書/ポテンシャルジュ情報	情報活用
		バイナリー発電 (120℃~150℃) 導入ポテンシャル(基本)、導入ポテンシャル(条件1), 導入ポテンシャル(条件2)		データと報告書/ポテンシャル情報	情報活用
		低温バイナリー (53℃~120℃) 導入ポテンシャル(基本)		データと報告書/ポテンシャル情報	情報活用
CSV 【本サイト搭載-公開】	ポテンシャルデータ	ポテンシャル一覧表(全国)	情報活用業務で作成	データと報告書/ポテンシャル情報	情報活用
		ポテンシャル一覧表(自治体)	情報活用業務で作成	データと報告書/ポテンシャル情報	情報活用

*1 原典の略称は次の通り。EADAS : EADAS からの API 連携により搭載

*2 ポテンシャル業務で情報を作成後、EADAS からの API 連携により搭載

*3 対応業務の記載は以下の通り。

情報活用：令和2年度再エネ導入ポテンシャル情報を活用した再エネ導入促進委託業務

ポテンシャル：令和2年度再生可能エネルギー導入ポテンシャルに関する調査委託業務

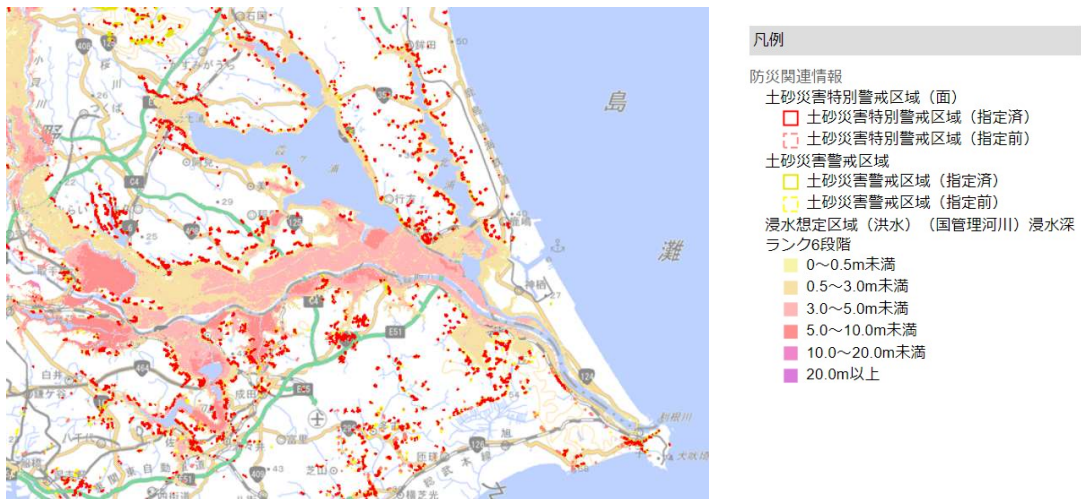


図 2.5-1 本業務において整備・搭載した情報の表示例（防災関連情報）



図 2.5-2 本業務において整備・搭載した情報の表示例（FIT 認定設備の概略位置）

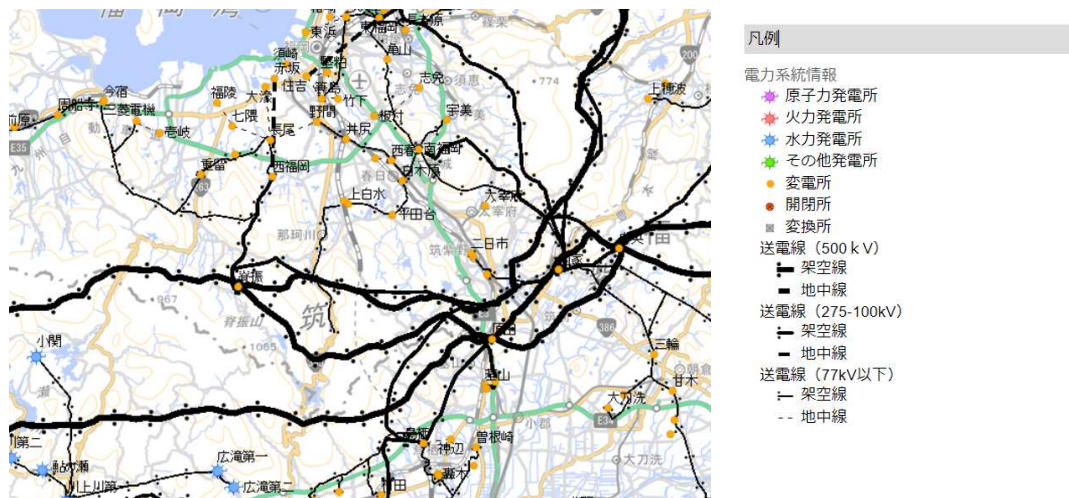


図 2.5-3 本業務において整備・搭載した情報の表示例（電力系統情報）

2.5.2 優先度が高い情報の実装に向けた検討

ヒアリングにおいて特にニーズが高かった系統空き情報については、再エネ導入促進寄与度が高いと判断されるため、現状の把握と REPOS への搭載可能性について検討をおこなった。

(1) 系統情報公開ルールの現状

系統情報の公開ルールについては、経済産業省資源エネルギー庁「系統情報の公開の考え方（平成31年4月改定）」において、以下のように示されている。

- ・特別高圧以上の系統については、広域的運営推進機関または一般送配電事業者のウェブサイトにおいて、回線数、設備容量、運用容量、制約要因（熱容量制約）、空容量、N-1電制適用可否、N-1電制適用可能量を公開する
- ・高圧の配電設備については、全国で膨大な数があることから、事前相談の際にすみやかに回答を行う

(2) 一般送配電事業者の系統情報公開状況

系統空き容量情報を公開している一般送配電事業者10社を対象に、情報公開の状況を整理した。

いずれの事業者も、事業エリア内の送電設備の概略位置を示す系統マップおよび前述の「系統情報の公開の考え方」に示されている情報についてPDF、CSVファイル等を自社ウェブサイトに公開し、約1か月程度の間隔で更新している状況であった。

また、1社についてはWebGISにより情報を公開していた。

(3) 一般送配電事業者へのヒアリング

WebGIS で公開されている情報は、API 連携等により比較的スムーズに REPOS に搭載できる可能性が考えられたため、当該の一般送配電事業者に対し、REPOS への搭載の可能性についてヒアリングを実施した。

自社ウェブサイトで公開している情報であるため搭載できる可能性はあるとする一方、REPOS に情報を搭載する際には、表 2.5-2 に示す課題が指摘された。

表 2.5-2 空き容量情報搭載における課題

No.	課題
1	一般送配電事業者ごとに、使用しているシステムが異なると考えられるが、各社のシステムを統一することは難しく、各社それぞれでデータの連携方法が異なってくる可能性がある。
2	API 連携のためのシステム改修費用が生じる可能性がある。
3	自社で更新した情報が REPOS でも同時に更新されないと、利用者に混乱が生じる可能性がある。

(4) 今後の動向と課題

発電事業者の予見可能性に関する情報として、「系統空き容量情報」の他に、実運用時の出力抑制の見通しに関する「系統潮流情報」や「需給関連情報」が公開されている。

これらの情報の今後の動向として、経済産業省資源エネルギー庁より、下記のとおり示されている。今後、高度化される公開情報の REPOS への搭載についても検討が必要と考えられる。

- ・電力需給の情報も含め、更なる系統情報の公開・開示の高度化を進めるため、今夏頃までに一定の方向性を取りまとめ予定

(第3回内閣府再生可能エネルギーに関する規制等の総点検タスクフォース資料「カーボンニュートラル時代に向けた電力ネットワークの次世代化」令和3年1月8日)